

# Tuuli

トゥーリ

2013年3月15日発行



ずいぶん春めいてきましたが、春を満喫するどころか「春は辛い季節」という方も多いのではないのでしょうか？くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみという4大症状を引き起こす花粉症。この花粉症というのは日本特有のものではありません。先日の宮澤豊宏さんのマーガレットサロン、「フィンランド人と森との係わり」の講演のなかで、フィンランドにも花粉症があるというお話がありました。日本のように杉やヒノキはないのですが、一番問題になるのが白樺で、5月～6月にかけてアレルギー症状が出る人がいるそうです。

今年日本では花粉に加え、黄砂とPM2.5の飛散も加わっています。後しばらくの辛抱です。一緒に頑張りましょう！



## ボランティア交流会のご報告



さる2月28日（木）ボランティア交流会が行われました。本年度は2部構成とし、1部は「至誠学舎創設100年を振り返って」という演題で橋本富美子相談役にお話しいただき、2部は会食をしながら交流会を行いました。

まず橋本正明ホーム長から、ボランティアさんが至誠学舎の片一方の車輪として事業を支えてくださっていることへの感謝の言葉がありました。

次に橋本富美子相談役が至誠学舎の100年をユーモアを交えて振り返っていただきました。「創設者であり、父である稲永久一郎は九州から東京に出て神田でお菓子の問屋を始めました。ある日、罪を犯した少年たちに出会い、仕事を覚えさせ社会に出す社会事業を始めたいと考えました。少年保護施設は少年院という名前がありましたが、父は「至誠学舎」としました。「誠の心」を基本の精神にした学び舎、この心が表れている名前でした。

貧しい時にも心を配って1円も無駄しないように工夫をしました。調理する時にも栄養を考えるだけでなく、切り方など少し心かけることで料理はよりおいしくなるのです。またお年寄りにはホームの中で安心して暮らすだけでなく、人間として自分をより高める楽しみ、すなわち心の栄養が必要だと考え、そのため当時クラブ活動などないうちから至誠ホームではボランティアさんをお願いしクラブ活動を盛んに行ってきました。それにはボランティアの皆様方のお力がなければできなかったことです。ありがとうございました。」

また特養建設のいきさつについても、お年寄りからのたっでの願いで特養建設を決め、国の補助だけでなく周辺5市の補助をいただき特養が建設されたこと、在宅福祉としてショートステイ、デイサービス、入浴サービスを先駆けて行ったことなどをお話しいただきました。

「現在の至誠ホームはボランティアさんのお力をいただいております。お年寄りに厚みのある生活ができています。お礼を申し上げます。」と締めくくられました。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



## ボランティア保険加入手続きのお願い



25年度に向けてボランティア保険の加入申し込みをお願いいたします。保険加入期間は4月1日から3月31日です。現在ご加入いただいている保険は3月31日で切れてしまいます。そこで未加入の期間をなくすため、早めの手続きをお願いいたします。

年間保険料500円のうち半額は至誠ホームで負担させていただきますので、ボランティアさんの自己負担金は250円です。加入手続きを、どうぞよろしくをお願いいたします。

25年度の保険に関して、説明会が4月17日に立川市社会福祉協議会市民活動センター立川で行われます。変更等ありましたら再度お知らせしたいと思います。

# 特養入居者、久野さんのお便り

「このツアー、何部かもらっていいかしら？」このようによく声をかけてくださる特養の入居者の方がいらっしゃいます。特養4階の久野さんです。久野さんは病に倒れる前「お話ころりん」と「立川お話ボランティア」の1員として活躍しておられました。お話を伺うと、お友達にお手紙を送るときにツアーを同封して下さっているそうです。久野さんはいつも感謝の言葉を口にされます。そこで「今のお気持ちをまとめていただけませんか？」とお願いすると、『大勢の皆様にも心も支えられて』という文章を寄せてくださいました。

~~~~~

根川の桜のほころび始めた春の小雨の日に至誠ホームに入所しもうすぐ丸3年がたちます。右脳内出血で2006年に倒れたのは65歳の時でした。倒れても記憶、考えること、すべてははっきり分かるのに、マヒのため、口での伝達表現はもどかしく、動けずままにならないつらい体になり、その自分を心に受け入れるまで時がかかりました。

寝たきりの動けないところからのスタートで、できないことも1つずつ、少しずつ、ゆっくりゆっくり時間と年月をかけながらいろいろ考え、工夫をしながらの7年間でした。もっとご不自由なお仲間の頑張るお姿にいつも励まされて、日常生活の小さなこと1つでも自分でやれるようになりたいと生きてきました。ベッドにいることの多い私ですが気持ちをそらすため指、手先の作り物、手紙書き、本読み、ラジオを聴く、テラスでの足踏み、体操、ピアノを弾くなどからだの心のリハビリとしてやっています。

そんな中至誠ホームに来て、生活アクティビティでのリハビリはもとより、数え切れぬほどのすべてのところで、私どもを助け、支えてくださる大勢のボランティアの皆さまのお力添えにはびっくりいたしました。月曜日は至誠さわやかコーラス、火曜日は英語クラブ、聖書の会、水曜日はコーヒータム、木曜日はお茶を楽しむ会、金曜日は器楽讃美歌クラブ、お習字、お花クラブがあります。また毎朝の体操の送迎、ホーム喫茶、喫茶「なでしこ」、お買い物、繕い物、お洗濯の整理、シーツ交換、また各階でいろいろお世話下さる方々、納涼大会やバザーその他の行事に大勢の方々や学生の方々・・・私の知るところだけでもこんなにありますが、もっともっと私の知らない見えるところ見えなくてたくさんの方々のボランティアの方々のお支えがあることに「すごいなあ！」と思いました。

それぞれ動きの不自由さ、つらさの違いがあります私たち入所者を、一年中、いつも楽しい、うれしい、たくさん活動の場へお連れ下さり、楽しい時間を下さり、温かいお声かけ下さり、私どもの体と心をほぐして支えてくださる大勢のボランティアの皆様のお力には感謝いっぱいでお礼の気持ちは言い尽くせません。いつもいつもほんとうにありがとうございます。

至誠ホーム特養4階入居者 久野 紀代子



## フィンランドからの研修生のお知らせ



本年度もまた、フィンランドから研修生が至誠ホームにいらっしゃいます。タンニャ ムストーンさんとビルギット ケスキ-オパスさんです。滞在予定は3月15日から4月4日までです。タンニャさんは看護師で、ビルギットさんはフットセラピストです。日本における高齢者ケアを学ぶのと同時に日本の人たちと触れ合いながら伝統や文化を学びたいとのご希望です。どうぞ温かくお迎えくださいますよう、よろしく願いいたします。



## シーツ交換ボランティアさん募集

特養3階でシーツ交換をしてくださるボランティアさんを募集しています。新しいシーツは気持ちの良いものです。どうぞご協力をお願いいたします。

➤ 日 時：相談に応じます。 場 所：特養3階 居室



## 生活アクティビティでの陶芸ボランティア募集

ジョージ兼路さん指導の「陶板・陶芸教室」で一緒に土をこねませんか？同時に利用者の送迎、教室の補助、準備等の手伝いをお願いいたします。

◆ 日 程：4月5日、19日 5月10日、24日 6月7日、21日（すべて金曜日）

◆ 時 間：10時～12時（準備、後片付けを含む）

◆ 人 数：2～3名

※ 詳しい内容についてはボランティアコーナーにお問い合わせください。



発行 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 企画推進本部 企画調整 ボランティア担当 寺澤・加藤

連絡先 〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel: 042-527-0035 Fax: 042-527-2646  
E-mail: [shisei-volunteer@shisei.or.jp](mailto:shisei-volunteer@shisei.or.jp) HP: <http://www.shisei.or.jp>